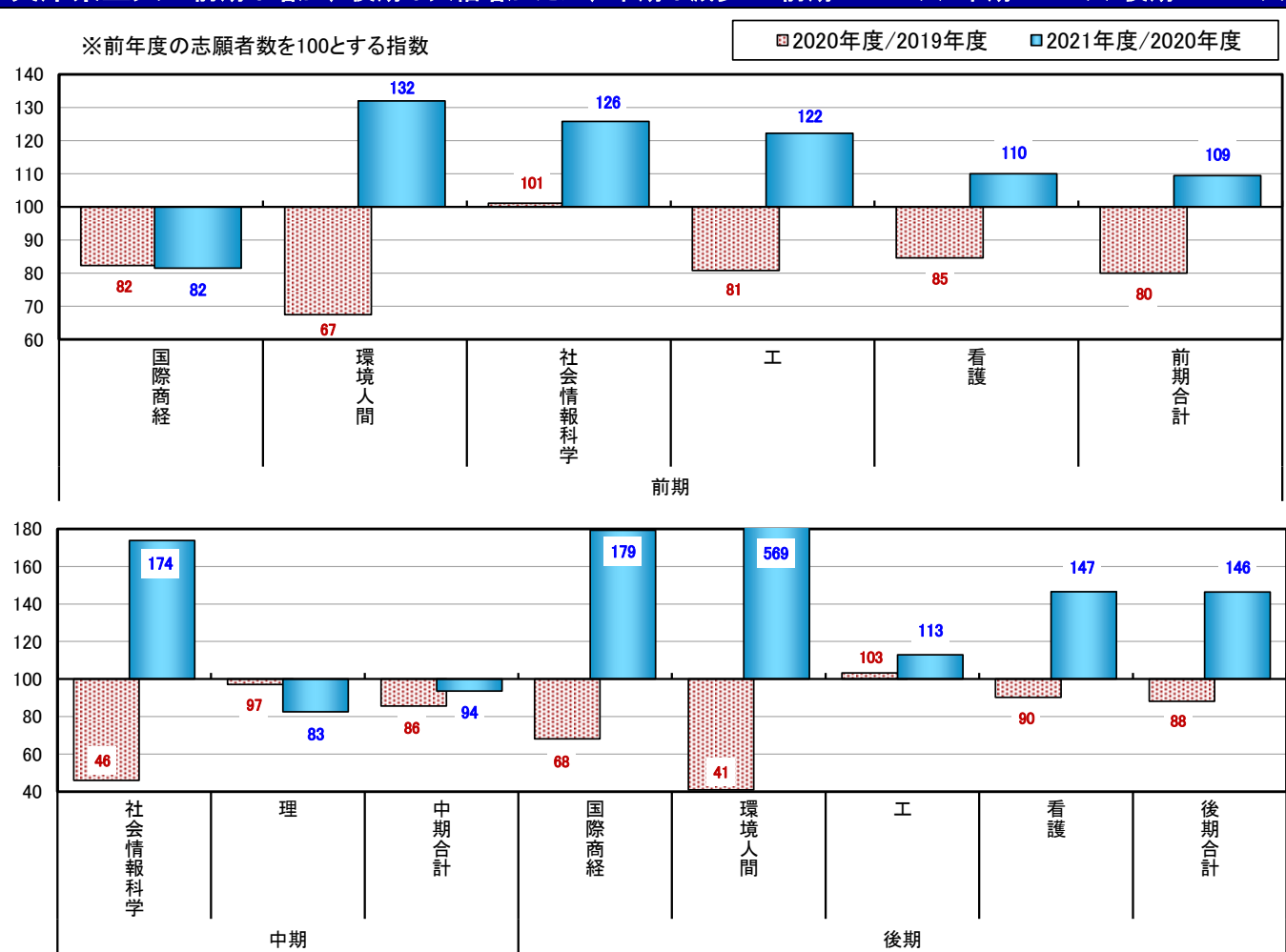


2021 年度入試状況分析【国公立大】

兵庫県立大：前期は増加、後期は大幅増加だが、中期は減少 前期：+160人 中期：-166人 後期：+708人



入試変更点 選抜方法：理<中>…第1段階選抜新規実施：実施予告倍率 14 倍(通過予定人数 1,890 人)

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 160 人(109)の増加で、国際商経(82)以外はいずれも増加。2017 年度以降前年度の反動による増減が継続。中期は 166 人(94)の減少で 2 年連続減少となり、理(83)が大幅減少。後期は 2 年連続減少の反動で 708 人(146)の大幅増加で、全学部で増加。

<前期日程>
 ○国際商経(82)は、2019 年度の改組後、2 年連続大幅減少。学科・コース別では、2 学科とも減少で、特に(国際商経/グローバルビジネス)(49)は半減以下の大幅減少、(国際商経/経済学・経営学)(86)も前年度の大幅減少に引続き減少。
 ○環境人間(132)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学部全体の募集人員が 115 人になった 2017 年度以降、翌年から前年度の反動による大幅増減が継続。
 ○社会情報科学(126)は、大幅増加で 2019 年度開設から 2 年連続増加。志願者数は 230 人近くとなった。
 ○工(122)は、2 年連続減少の反動で大幅増加。学科別では 3 学科ともに大幅増加。いずれも前年度の反動。
 ○看護(110)は、前年度大幅減少の反動で増加。

<中期日程>
 ○社会情報科学(174)は、2019 年度開設だが、前年度大幅減少の反動で激増。志願倍率も 15.5 倍→27.0 倍にアップ。
 ○理(83)は、第 1 段階選抜を新規実施した影響から大幅減少で 2 年連続減少、志願倍率は 13.9 倍で第 1 段階選抜予告倍率 14 倍を下回り、2 段階選抜は実施されなかった。学科別では 2 学科とも減少で、(物質科学)(77)は 3 年連続増加の反動で大幅減少、(生命科学)(90)は減少で 2 年連続減少。

<後期日程>
 ○国際商経(179)は、2019 年度に改組後 3 年目の募集だが、前年度大幅減少の反動で激増。
 ○環境人間(569)は、前年度減少率約 60%の大幅減少の反動に加えて、もともと個別試験を課さないことで共通テストの得点での逃げ切りを狙う層が集中した結果、6 倍近い激増。学部全体では 2017 年度以降、前年度の反動による増減が継続。
 ○工(113)は、系統への人気の高まりもあって、増加で 4 年連続増加。学科別では 3 学科とも増加で、(応用化学工)(125)は大幅増加、(機械・材料工)(111)は増加、(電気電子情報工)(105)はやや増加。また、(応用化学工)(電気電子情報工)はいずれも 4 年連続増加。
 ○看護(147)は、前年度減少の反動で大幅増加し、志願者数は 2017 年度以来の 140 人を上回った。